

【注意事項】 FSP 6.0.0 と Reality AI Utilities, QE for OTA の 非互換性について

R20TS1159JJ0100
Rev.1.00
2025.07.20

概要

e² studio で Reality AI Utilities または QE 製品を使用する場合は、以下の点に注意してください。

- 次の機能は、FSP 6.0.0 をインストールした e² studio では正しく動作しません。
 - Reality AI Utilities のプラグイン版とスタンドアロン版: Hardware in Loop (HIL) テスト
 - QE for OTA: RA MCUboot を使った初期ファームウェアの作成

1. FSP 6.0.0 をインストールした e² studio での使用に関する注意事項

1.1 Reality AI Utilities について

1.1.1 該当製品

- Reality AI Utilities V2.2.0
- FSP 6.0.0

1.1.2 該当デバイス

- RA8P1 を除く RA ファミリー

1.1.3 内容

Hardware in Loop テストでプロジェクトのビルドに失敗します。

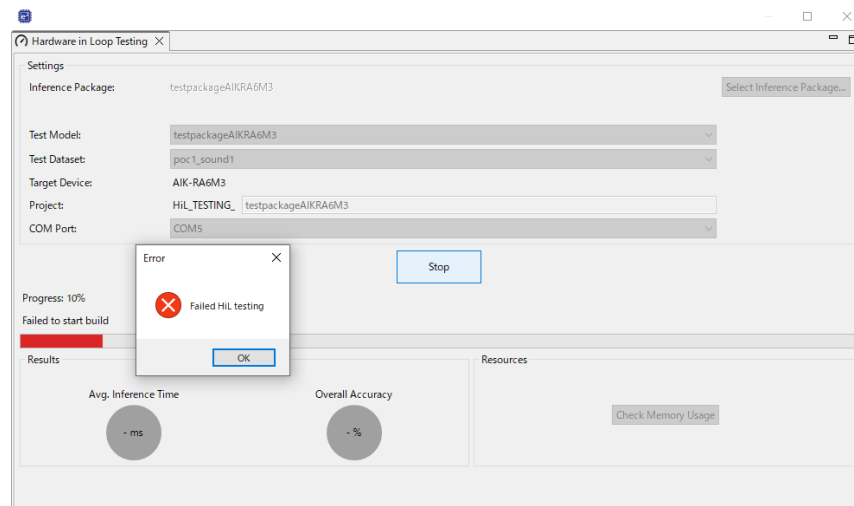


図 1 問題発生時

1.1.4 発生条件

FSP 6.0.0 と Reality AI Utilities V2.2.0 との組み合わせで Hardware in Loop テスト機能を使用した場合

1.1.5 回避策

FSP 5.x (FSP 5.7.0 以上) をインストールしてください。

[Release v5.7.0 · renesas/fsp · GitHub](#)

1.1.6 恒久対策

この問題は次のバージョンで修正される予定です。(2025 年 8 月リリース予定)

1.2 QE 製品について

1.2.1 該当製品

- QE for OTA V2.2.0
- FSP 6.0.0

1.2.2 該当デバイス

- RA ファミリ

1.2.3 内容

プロジェクトのビルド後に、MCUboot を使用した初期ファームウェアの作成に失敗します。

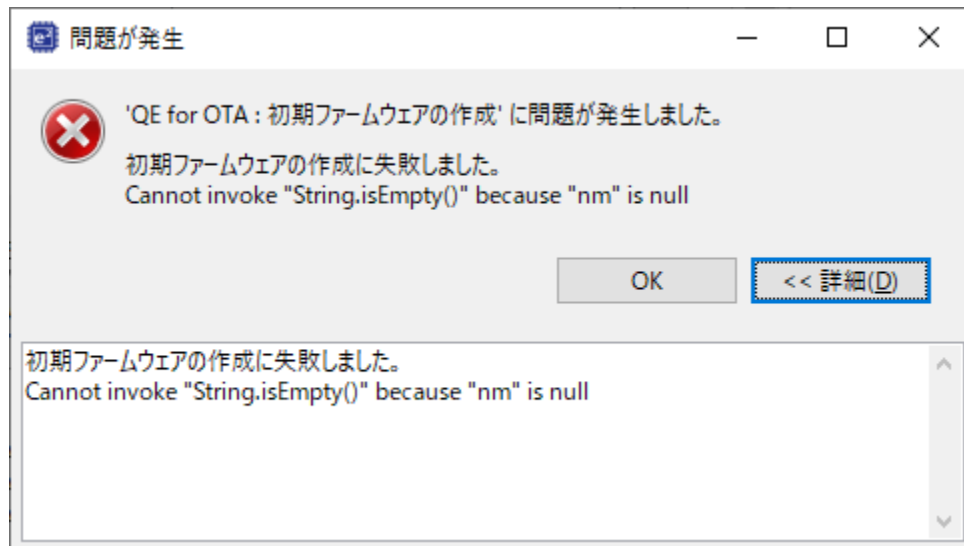


図 2 問題発生時

1.2.4 発生条件

QE for OTA V2.2.0 と FSP 6.0.0 の組み合わせで MCUboot を使用した初期ファームウェアを作成しようとしたとき。

1.2.5 回避策

以下のいずれかの方法でこの問題を回避することができます。

- QE for OTA を使わずに FSP のドキュメントを参照して初期ファームウェアの作成、更新ファームウェアの作成を行ってください。

- QE for OTA を使う場合は、FSP 5.9.0 と組み合わせてください。

1.2.6 恒久対策

この問題は次のバージョンで修正される予定です。(2025 年 12 月リリース予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jul.20.2025	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）
www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。
www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。